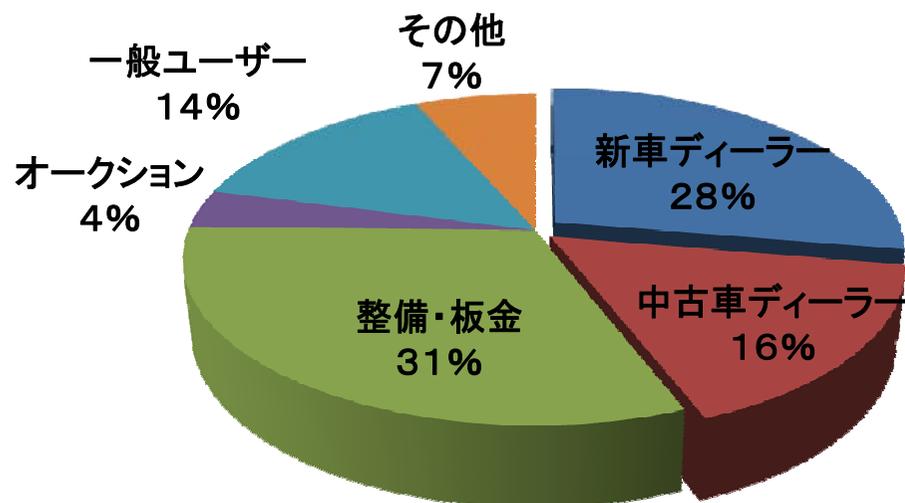
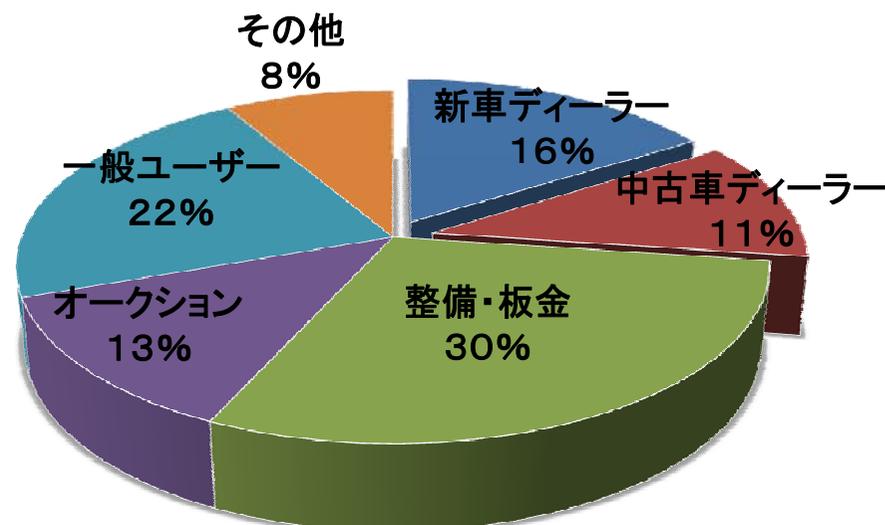


# 法施行前後の流通の変化

施行前の入庫割合



施行後の入庫割合



日本ELVリサイクル機構調べ

法律の施行前後では、入庫元が大きく変化。

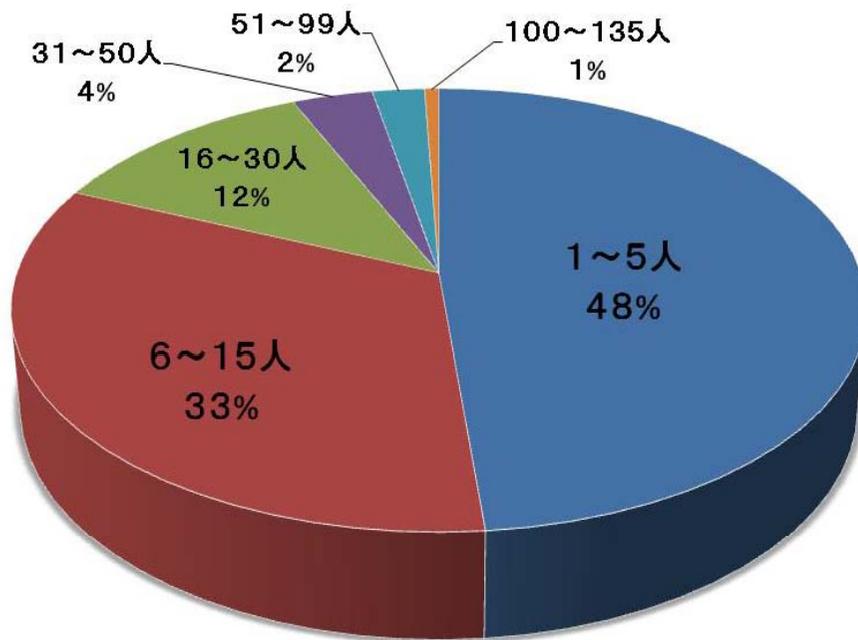
➤販売店からの入庫が減少する一方で、オークションや一般ユーザーからの入庫が増加。

ディーラーからの入庫比率 : 44%→27%

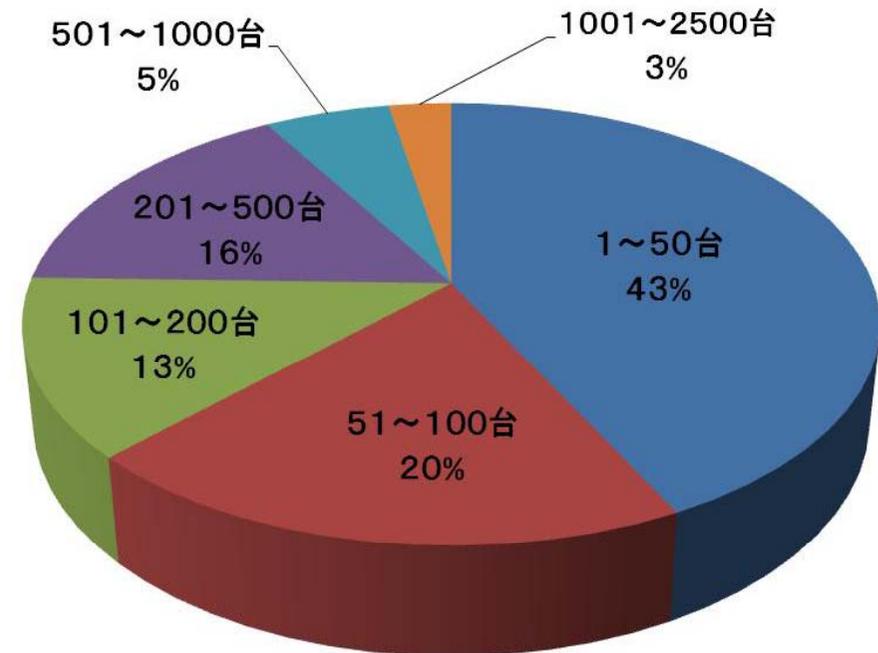
オークション、一般ユーザーからの入庫比率 : 18%→35%

# 解体業者の現状について

## 事業所毎の従業員数



## 月間解体処理台数



日本ELVリサイクル機構調べ

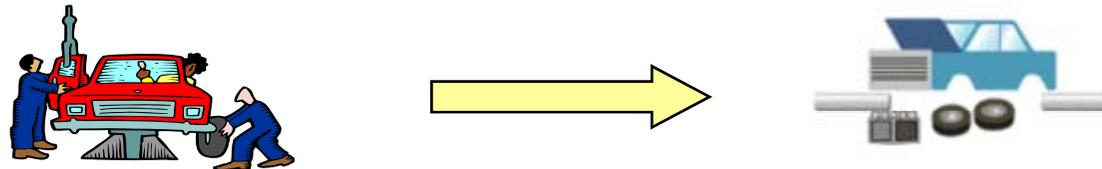
➤ 解体事業者の約8割が15人以下の小規模企業であり、月あたりの処理台数が200台以下の事業者は、全体の76%を占める。

# 解体業者の業務形態

解体業者は大きく2つの業務形態に分けられる

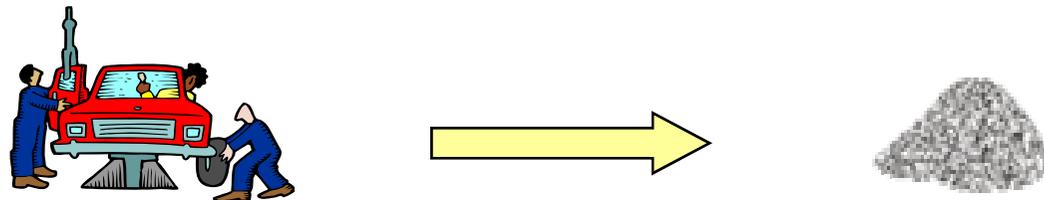
- 再生部品生産型解体業者

主に手作業による精緻な解体により部品取りを行い、再生部品の生産へとつなげていく。



- 原材料リサイクル型解体業者

主に機械による解体を行い、破砕工程、熔解工程へと送り原材料リサイクルへとつなげていく。



# 解体業者の業務フロー



# 主な中古(再生)部品

## 外装部品



ボンネット



ライト



フェンダー



フロントグリル



ドア



バンパー

## 機能部品



エンジン



オートマチックミッション



ラジエーター

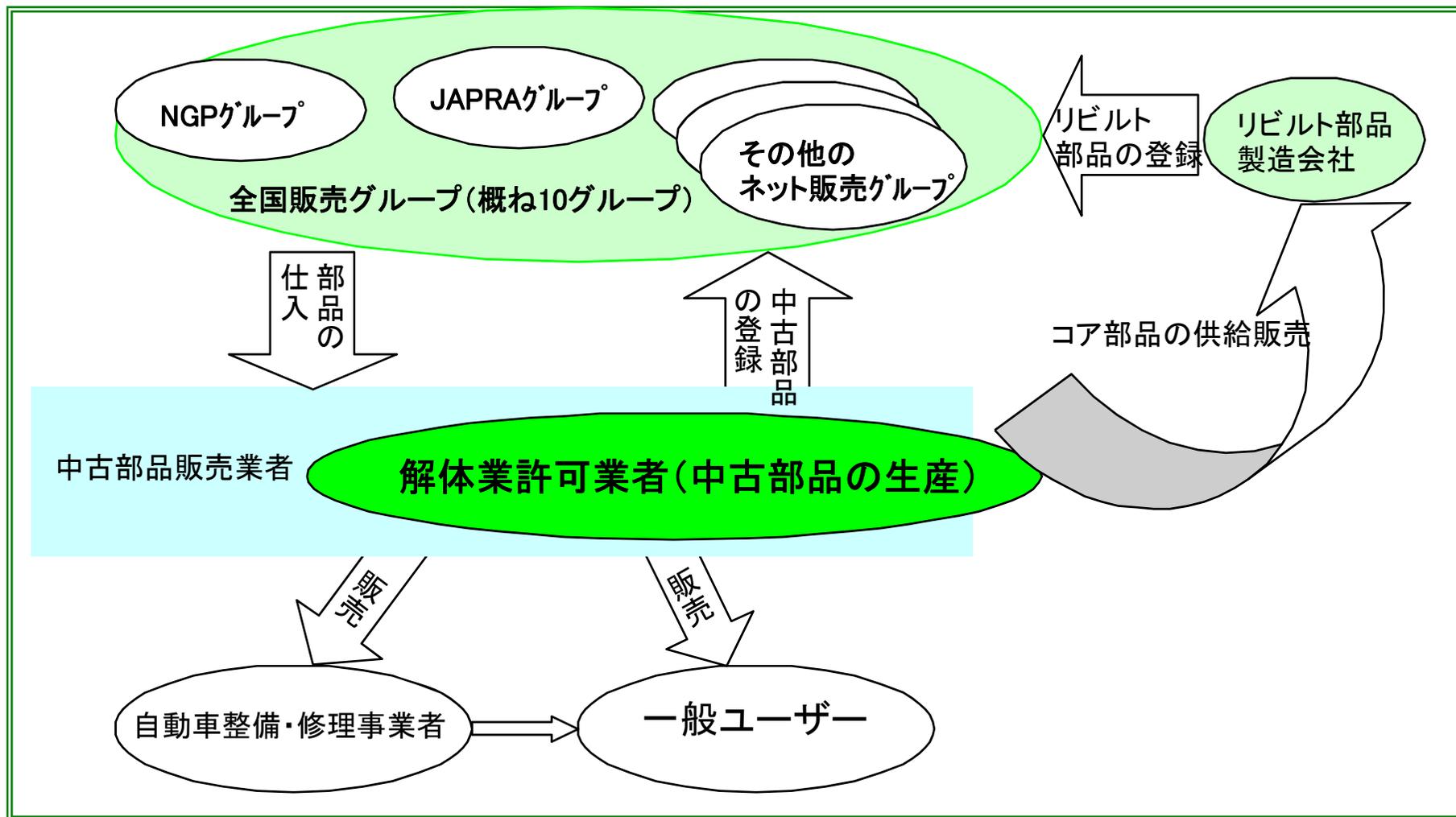


マニュアルミッション



ターボチャージャー

# 部品流通について



# 解体業者の課題

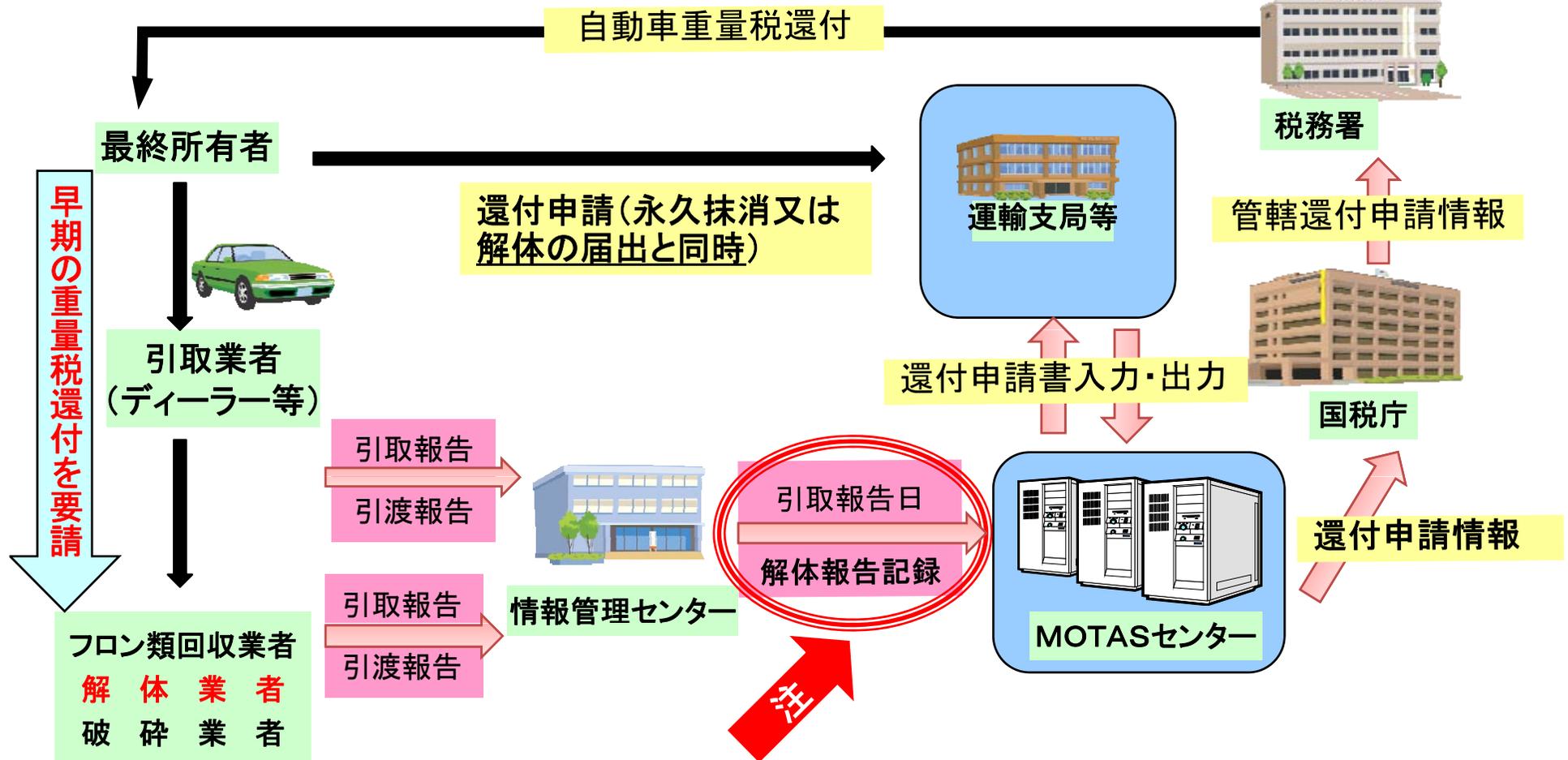
# 中古部品の品質保証基準について

## 現状：JAPRA、NGPグループにおける保証基準の比較

| JAPRA  | NGP          |   |
|--|--------------|---|
|  | <b>対象</b>    | 部品別   |
| 保障基準Ⅰ（機能部品）はA,B,CZの4種<br>保障基準Ⅱ（外装部品）はZのみ   | <b>品質表示</b>  | 部品別規定とされ品質表示なし。   |
| 品質別に4段階の規定<br>【例】ランクAの場合：6ヶ月間ないし取付後、6000km走行以内のどちらか早い期間  | <b>保証期間</b>  | 機能部品については部品（エンジン、ミッションなど）別に9規定。<br>パネル：、色、左右、傷、凹みなどについては売り手側の説明と相違する場合（運送事故サービス）は保証対象としている。                                 |
| 対象の記載なし  | <b>保証対象</b>  | 部品別に保証対象を明記<br>【例】噴射ポンプ：<br>シーリング&パッキン不良に夜燃料漏れ<br>マグネットバルブ等の不具合によるエンジン始動性の不良等 など  |
| 再組み替え時に発生する再利用できない部品代（油、LLC、ガスは対象外）  | <b>適用外規定</b> | ・使用（取替え）が出荷日より1ヶ月以上遅れる場合は販売元と話し合いの上保障期間を延長することが可能。<br>ただし、保管状態が悪い場合（屋外、水分、ほこりの多い場所）は、延長及び保障は認められません。<br>このほか部品別に12～17項目が規定。 |
| 品質別に規定<br>【例】<br>A～C<br>代替品の供給を原則とする<br>代替品無き場合は返品&返金受付<br>組み替え工賃（日整連の定める）<br><br>Z<br>代替品の供給を原則とする<br>代替品が自社在庫に無き場合の返品と返金受付 | <b>保証方法</b>  | 1. 取替工賃<br>日整連の定める工賃指数×レーバレート6,000円を上限として保証する<br>2. 代替品の補給<br>①購入された商品と同等までの代替品にて保障する。<br>②代替品なき場合は、返品返金とする。                |

## 課題：ユーザーに分かり易い統一基準

# 解体期間の実務上の制限



早期の重量税還付要請等により最終処理までの時間を限られることがあり、法で認められた120日間を確保できない。(実質:平均7.2日)  
調査によると7割以上の事業者が解体期間の短縮を要求されたことがある。  
→部品取りに十分な時間が確保できない。